

財政状況の公表（25年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

25年度予算のあらまし 一般会計「1号補正」の概要

25年度予算の執行状況 一般会計（平成25年9月30日現在）

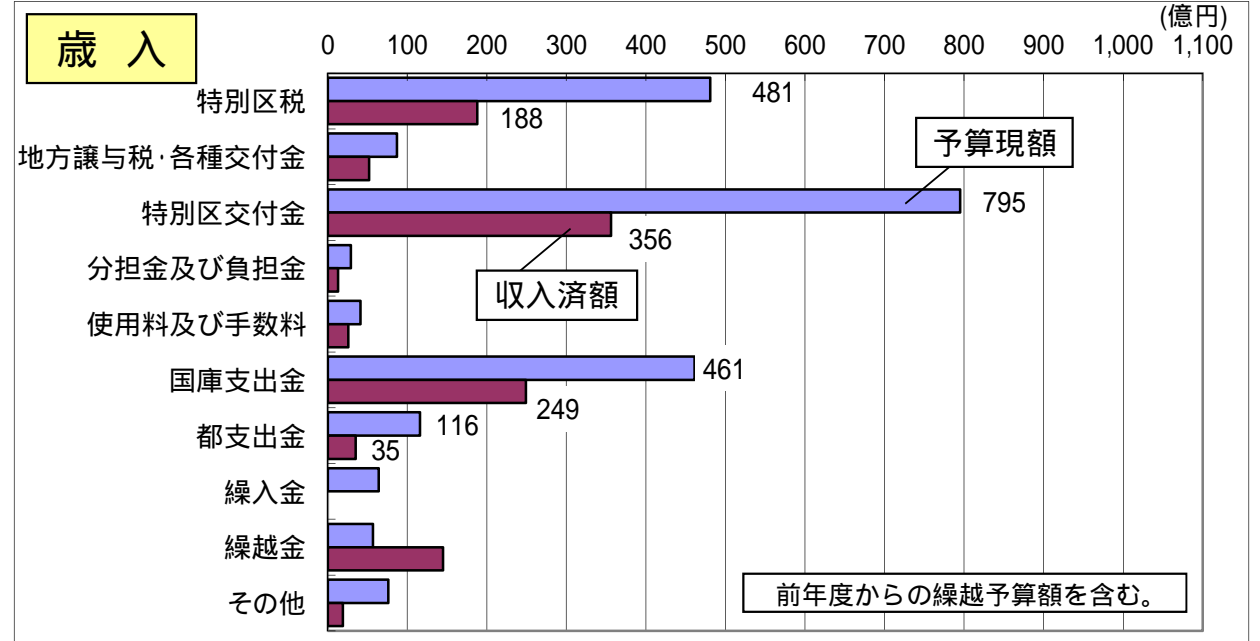
補正額 24億2,259万3千

<歳入>

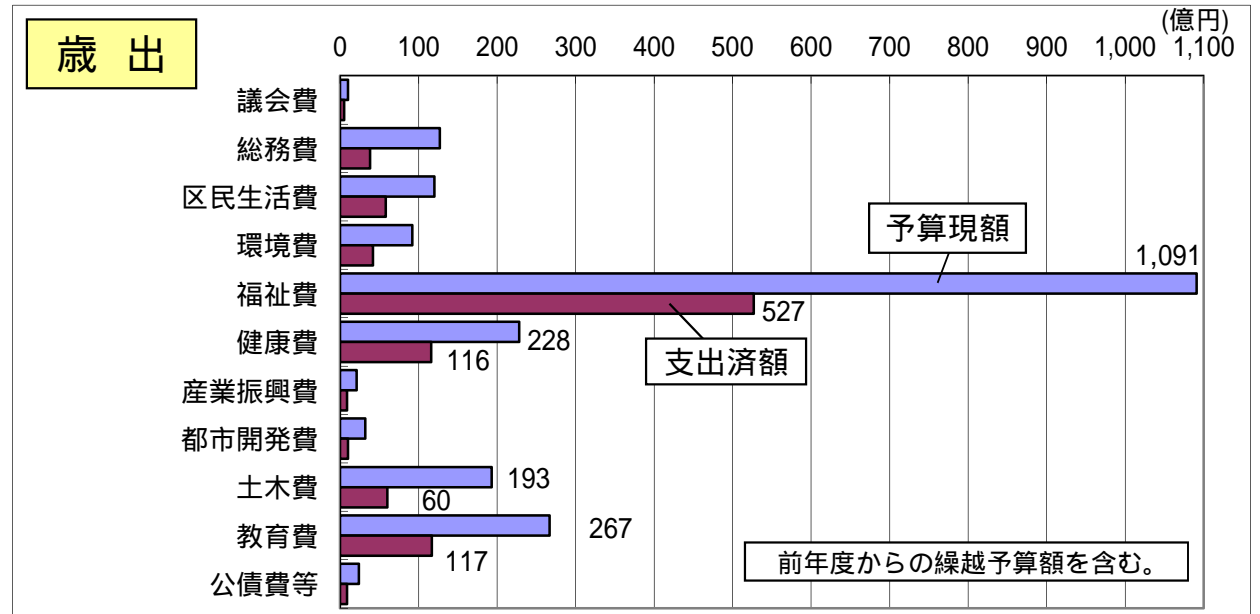
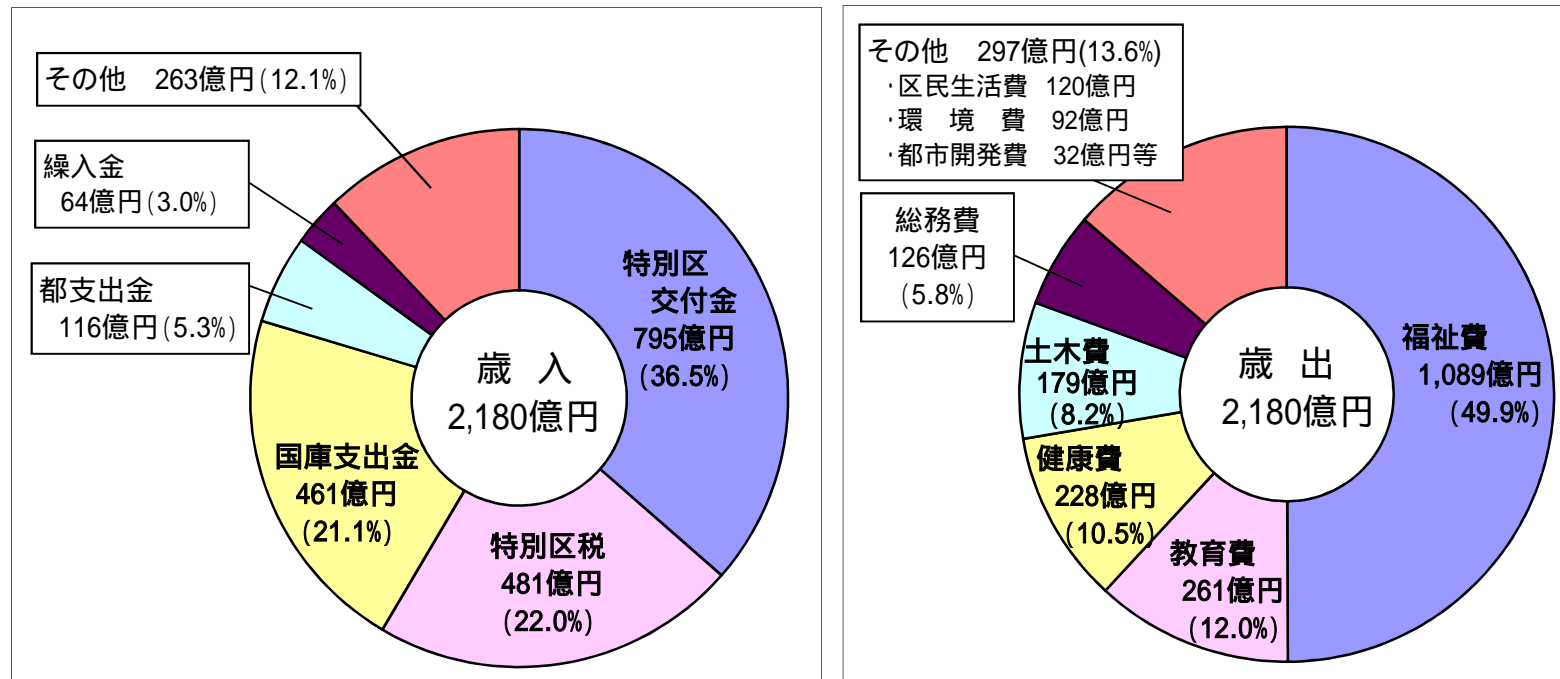
繰入金	15億6,102万4千円
繰越金	3億9,450万4千円
国庫支出金	2億5,040万円
都支出金	1億5,568万9千円
財産収入	2,645万9千円
寄付金	2,032万1千円
諸収入	1,419万6千円

<歳出>

北小岩一丁目東部土地区画整理事業費	19億9,277万4千円
(移転補償費、撤去工事費等)	
定期予防接種費	2億9,630万9千円
(予防接種法の改正に伴う3ワクチンの定期予防接種化経費等)	
学校運営費(小・中学校の理科・算数教材等の購入費)	8,780万円
小岩地区複合福祉施設整備費	8,105万6千円
(旧小岩図書館の施設改修工事費等)	

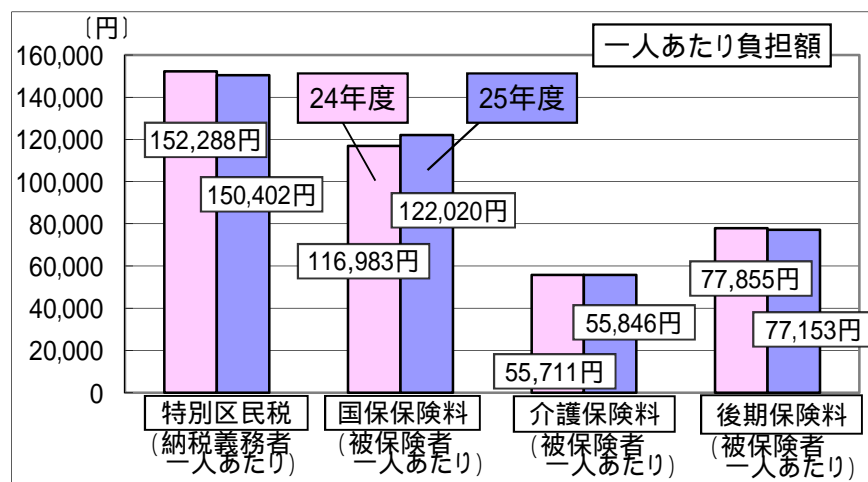


補正後の一般会計予算の構成

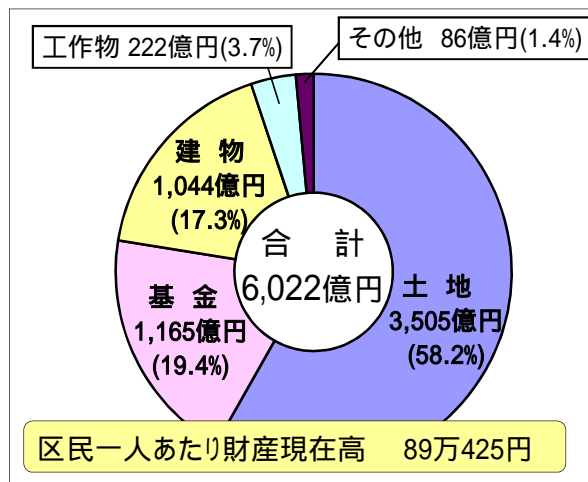


江戸川区の人口(住民基本台帳人口+外国人登録人口) 676,271人(平成25年 9月30日現在)

区民の負担概況 (平成25年9月30日現在)



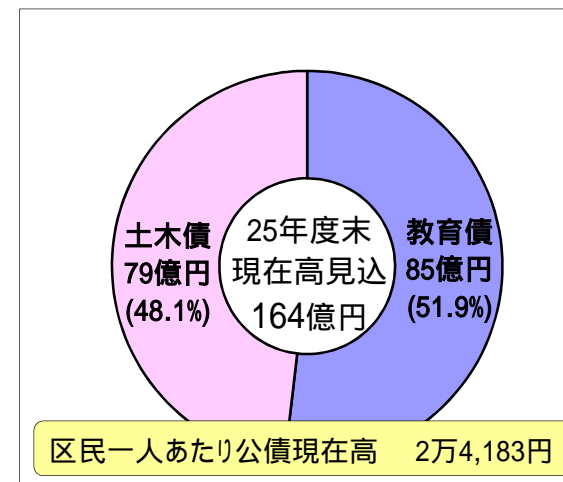
財産の現在高 (平成25年9月30日現在)



基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は965億円です。運用基金は、一定額の基金を土地取得のために運用するもので、200億円あります。

公債の現在高 (平成25年9月30日現在見込)



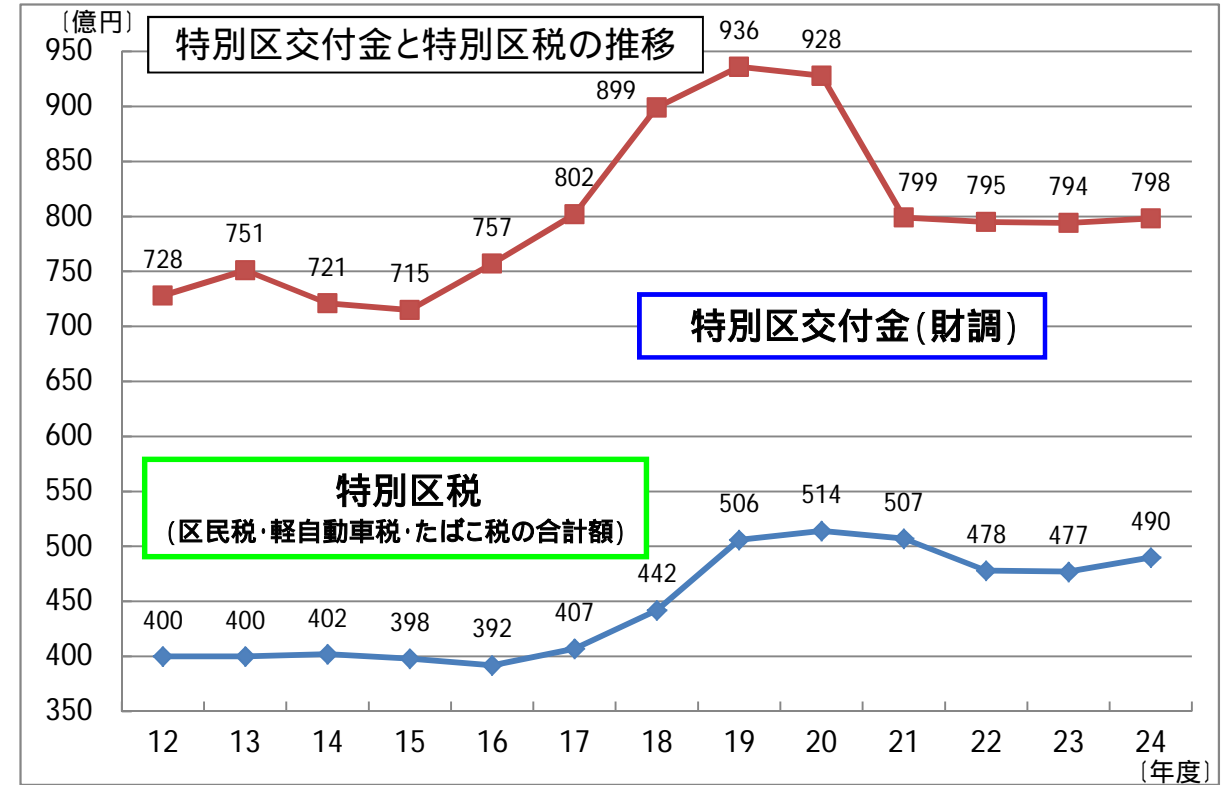
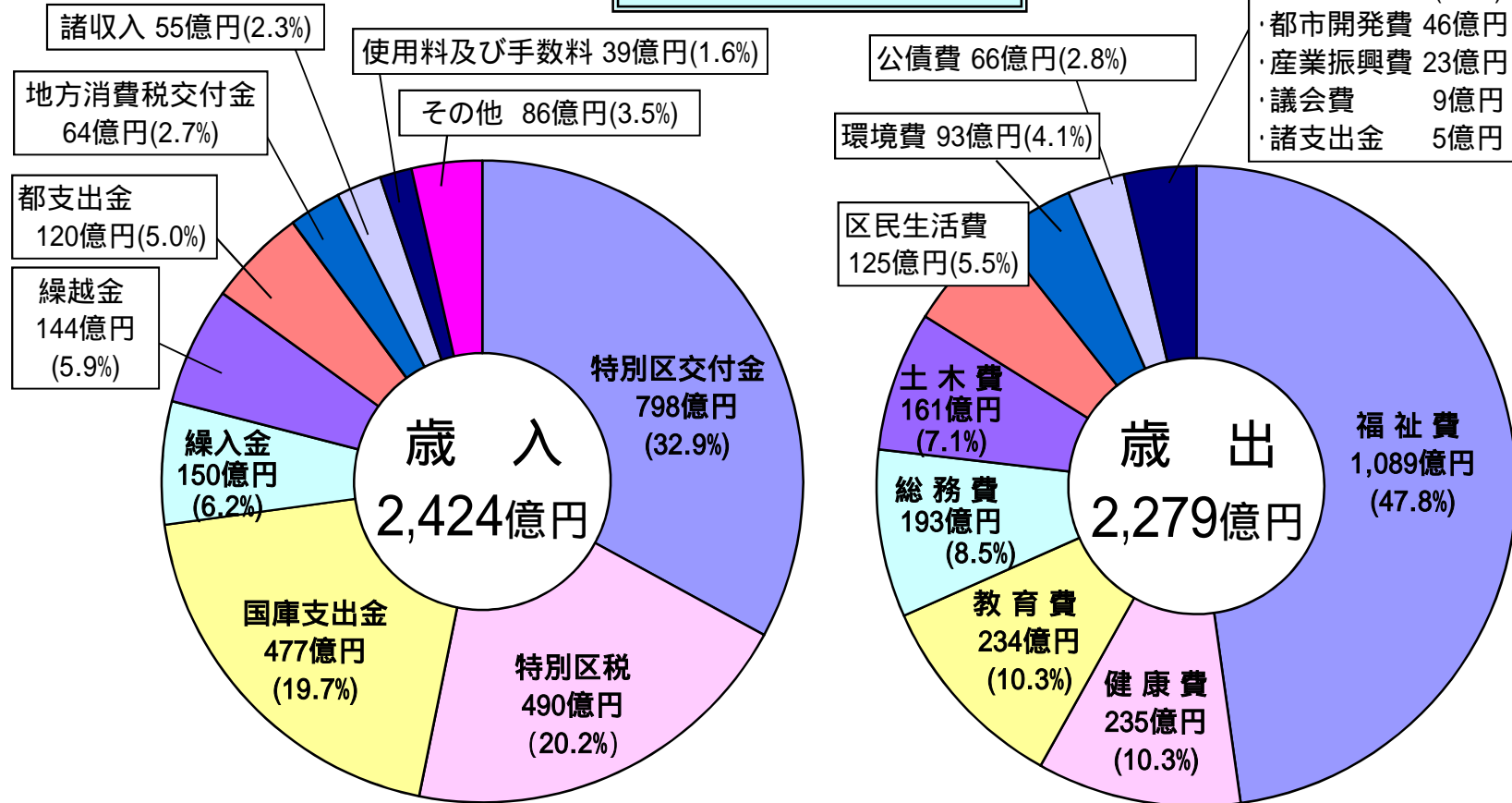
公債(区債)とは...

家計でいうと住宅ローンなどの借金です。道路整備や学校改築など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借入れ、負担の公平を図っています。

平成24年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

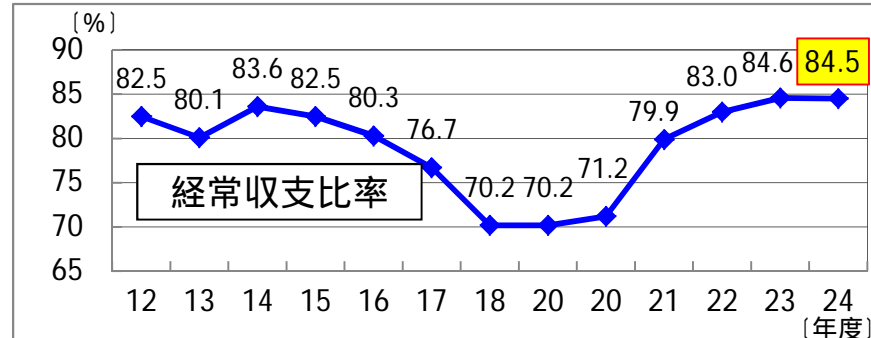
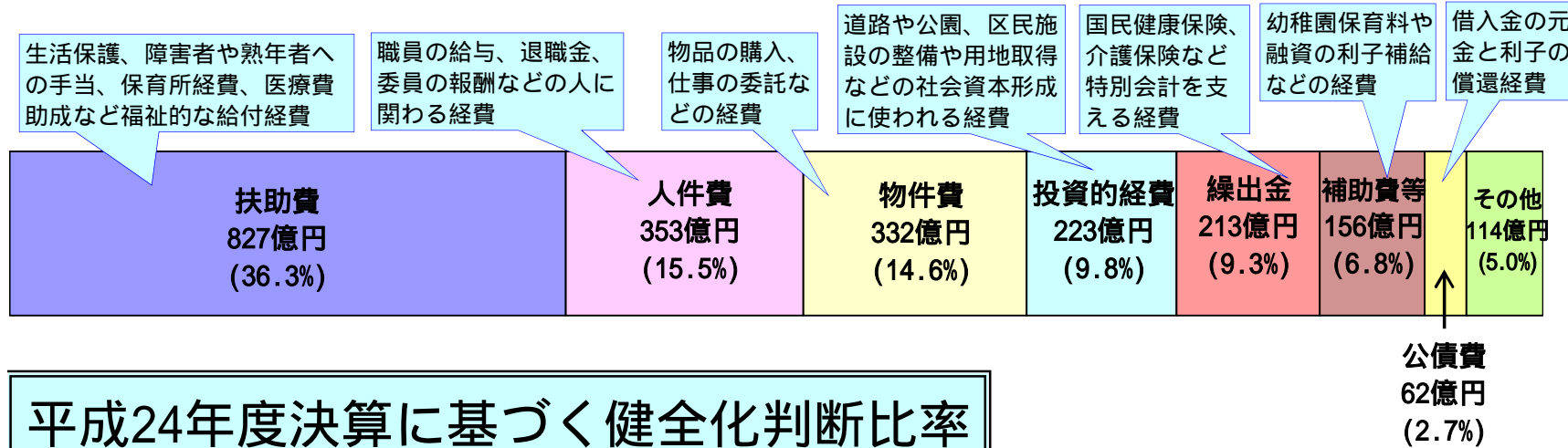
一般会計



特別区交付金と特別区税

平成20年度以降、景気低迷等により特別区交付金や特別区税は、減収が続いていましたが、平成24年度は日本経済の回復の兆しも見え始め、わずかに増収となりました。

歳出の性質別内訳



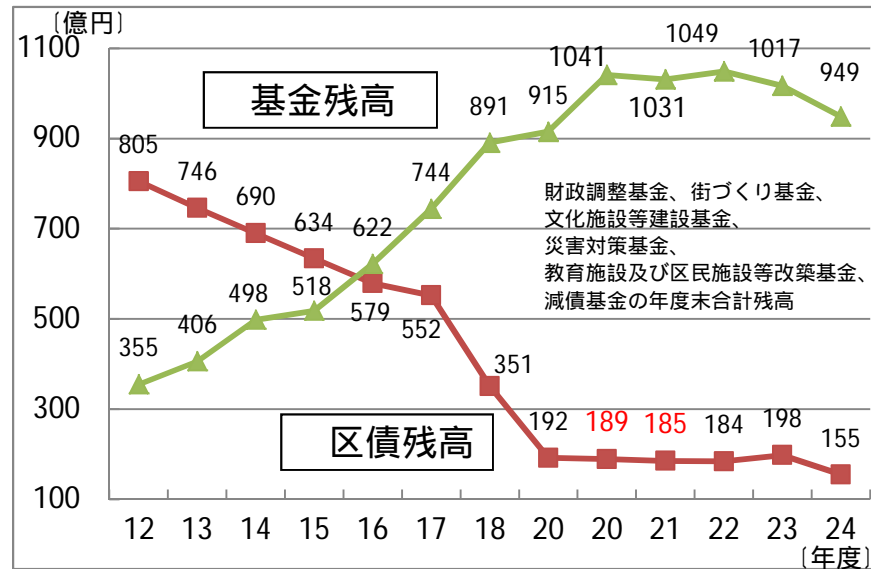
経常収支比率

財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%~80%です。24年度は、前年度から0.1ポイント改善しましたが、いまだ厳しい数値となっています。

平成24年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	-	-	5.2%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

表中の「-」はマイナス値を表し、24年度決算が黒字であったこと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「」と表示しています。早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で、江戸川区の場合の指標を記載しています。



区債と基金の残高

区債残高は、24年度に繰上償還を行ったことにより減少し、24年度末では155億円になりました。主要6基金残高は、「財政調整基金」などの取崩により、前年度より68億円の減少となりました。